

I. 事業評価総括表（令和2年度）

（単位：円）

番号	措置名	補助事業の名称	補助事業者名又は補助金事業者名	補助事業に要した経費	補助金充当額	備考
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	デジタル防災行政無線維持運営事業	鹿児島市	2,912,162	2,500,000	

II. 事業評価個表（令和2年度）

番号	措置名	補助金事業名						
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	デジタル防災行政無線維持運営事業						
補助事業者名又は間接補助事業者名		鹿児島市						
補助事業実施場所		鹿児島市内全域						
補助事業の概要		<p>鹿児島市では、第5次総合計画に基づき、災害対策設備等の充実を進めており、災害時に市民に対して防災や避難に関する情報伝達等を迅速・確実に行うために必要なデジタル防災行政無線の維持運営経費のうち、同報系デジタル防災行政無線設備の地域コミュニティ基地局等の回線使用料に補助金を充当しました。</p> <p>・ 自動電話応答機能及び地域コミュニティ基地局86局の回線使用料 10ヶ月分</p>						
補助事業に関係する主要政策・施策と目標		<p>第五次鹿児島市総合計画 後期基本計画（平成29年度～令和3年度） 基本目標4 健やかに暮らせる 安全で安心なまち 6 総合的な危機管理・防災力の充実～危機や災害に強い安心安全なまちづくりを進めます！～ 災害危険場所等の把握や、地震・津波による被災抑制等の防災対策事業を促進するとともに、市民及び国 県などの関係機関との緊密な連携と協力による総合的な防災体制を充実します。</p> <p>目標：「災害に強いまちである」と感じる市民の割合 50.0%（令和3年度）</p>						
事業開始年度		令和2年度		事業終了（予定）年度		令和2年度		
事業期間の設定理由								
補助金事業の成果目標及び成果実績		成果目標	成果指標		単位	評価年度	令和3年度	
		「災害に強いまちである」と感じる市民の割合 50.0%	市民意識アンケート調査	成果実績	%			
				目標値	%	50		
				達成度	%			
		評価年度の設定理由						
		第五次鹿児島市総合計画後期基本計画の評価年度						
		補助事業の定性的な成果及び評価等						
<p>防災行政無線を適切に維持運営することにより、災害発生時に、一斉に避難情報などの緊急情報を伝達することができ、市民生活の安全性を確保することができました。今後も継続して総合的な防災体制の充実に努めます。</p> <p>「「災害に強いまちである」と感じる市民の割合」については、令和3年度に改めて達成度合いを測定予定です。</p>								
評価に係る第三者機関等の活用の有無								
無								

補助事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	防災行政無線の放送日数		活動実績	日	365	366	365
			活動見込	日	365	366	365
			達成度	%	100.0%	100.0%	100.0%
補助事業の総事業費等	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考			
総事業費	5,685,205	5,904,325	2,912,162	14,501,692円(3ヵ年計)			
補助金充当額	4,000,000	5,000,000	2,500,000				
うち文部科学省分							
うち経済産業省分	4,000,000	5,000,000	2,500,000				
補助事業の契約の概要							
契約の目的	契約の方法	契約の相手方		契約金額			
デジタル防災行政無線維持運営事業(自動電話応答機能等)	随意契約(特命)	西日本電信電話株式会社鹿児島支店		2,912,162			
計				2,912,162			
補助事業の担当課室	鹿児島市危機管理課						
補助事業の評価課室	鹿児島市危機管理課						

I. 事業評価総括表（令和2年度）

（単位：円）

番号	措置名	補助事業の名称	補助事業者名又は補助金事業者名	補助事業に要した経費	補助金充当額	備考
1	福祉対策措置	大量軽石火山灰対応計画に係る避難シミュレーション事業	鹿児島市	19,250,000	7,500,000	

II. 事業評価個表（令和2年度）

番号	措置名	補助金事業名					
1	福祉対策措置	大量軽石火山灰対応計画に係る避難シミュレーション事業					
補助事業者名又は間接補助事業者名		鹿児島市					
補助事業実施場所		鹿児島市内全域					
補助事業の概要		<p>鹿児島市では、令和元年度に鹿児島市地域防災計画桜島火山対策大量軽石火山灰対応計画に基づき、鹿児島市街地側へ避難情報を発表した際の避難促進のための処置・対策案を検討しました。</p> <p>今回、避難促進のための処置・対策の実効性を高めるために、避難にかかる時間の推計の他、車両交通制限等の施策の効果検証を行う業務委託料に補助金を充当しました。</p> <p>大量軽石火山灰対応計画に係る避難シミュレーション業務委託料</p> <p>(1) 避難完了時間の推計 (2) 渋滞箇所の抽出 (3) 処置・対策の効果検証</p>					
補助事業に関する主要政策・施策と目標		<p>第五次鹿児島市総合計画 後期基本計画（平成29年度～令和3年度） 基本目標4 健やかに暮らせる 安全で安心なまち 6 総合的な危機管理・防災力の充実 ～危機や災害に強い安心安全なまちづくりを進めます！～ V 総合的な桜島爆発・降灰対策の推進 桜島の大規模噴火に備えるため、市民及び関係機関との連携により、避難計画の充実、長期的な避難生活支援対策や大量降灰対策の検討など、全島避難を要する噴火への対策を推進します。</p> <p>目標：「災害に強いまちである」と感じる市民の割合 50.0%（令和3年度）</p>					
事業開始年度		令和2年度		事業終了（予定）年度		令和2年度	
事業期間の設定理由							
補助金事業の成果目標及び成果実績		成果目標	成果指標		単位	評価年度	令和3年度
		「災害に強いまちである」と感じる市民の割合 50.0%	市民意識アンケート調査	成果実績	%		
				目標値	%	50	
				達成度	%		
		評価年度の設定理由					
		第五次鹿児島市総合計画後期基本計画の評価年度					
補助事業の定性的な成果及び評価等							
<p>桜島の大規模噴火時における市街地側の対策をとりまとめた「大量軽石火山灰対応計画」に基づく避難シミュレーションの実施により、計画の課題と対応策が明らかになり、シミュレーション結果を踏まえた計画の修正を行うことができました。今後も継続して計画の実効性を高め、火山災害対策の充実に努めます。</p> <p>「災害に強いまちである」と感じる市民の割合については、令和3年度に改めてアンケート調査を実施する予定です。</p>							
評価に係る第三者機関等の活用の有無							
無							

補助事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	シミュレーション業務結果報告書の作成	活動実績	式	-	-	1
		活動見込	式	-	-	1
		達成度	%	-	-	100.0%
補助事業の総事業費等	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考		
総事業費	0	0	19,250,000			
補助金充当額	0	0	7,500,000			
うち文部科学省分						
うち経済産業省分	0	0	7,500,000			
補助事業の契約の概要						
契約の目的	契約の方法	契約の相手方		契約金額		
大量軽石火山灰対応計画に係る避難シミュレーション事業	随意契約（特命）	株式会社アイ・ディー・エー（群馬県高崎市）		19,250,000		
計				19,250,000		
補助事業の担当課室	鹿児島市危機管理課					
補助事業の評価課室	鹿児島市危機管理課					